

# 鉄! この部屋!!

～田儀 櫻井家 いたたら製鉄遺跡 NEWS～

4.20. 7.13

Special edition

中世のたたら発掘!

やしきかに

## 屋敷谷たたら跡

我、キング  
よくぞ見つけてくれた!!

田儀 櫻井家の時代(江戸時代)より、さらに古い屋敷谷たたら(室町時代～戦国時代)が見つかった。屋敷谷たたらは、田儀 櫻井家が「大規模にたたら経営を行う以前に製鉄集団が存在したことを示す貴重な発見である!」

ハイ!  
ココ大事!

～現在の屋敷谷たたら跡の様子～



～屋敷谷たたら跡とは...?～

〔どんなところ...?〕

屋敷谷たたら跡は、宮本から車で5分そこからさらに徒歩40分の所にあるんじや。幾度も川を渡り、草をかき分け、山道を進んでやっと到着するんじやよ。

〔何か出てきたの...?〕

平成19年10月より調査を開始し、その調査の結果、中世製鉄炉(地下構造)1基と精錬鍛冶炉3基が確認されたんじやよ。

〔まとめ〕

屋敷谷たたら跡が確認された事で宮本周辺では、中世においてたたらが行われていた事がわかったのじや。このように、もともとの地域ではたたら製鉄の素地があったからこそ、その後に田儀 櫻井家の宮本進出、そして大規模なたたら経営が可能になったという事じやろうな。

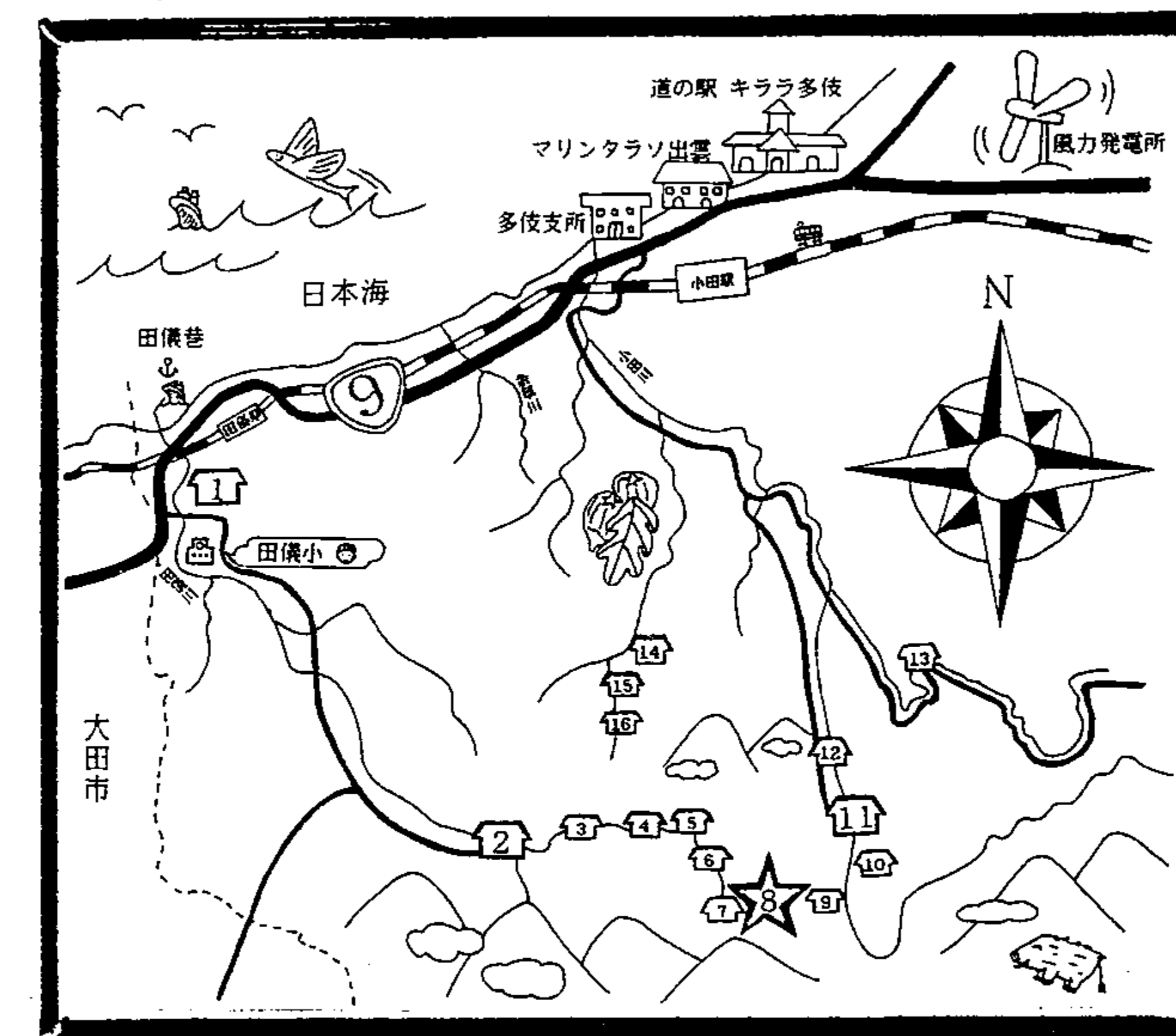
### Topic News

5月5日の金屋子神社祭りに合わせて『金屋子神社祭と修理の終わった管光院を見に行かや!』が開催され約150名の参加がありました。ありがとうございました。

# たたら製鉄に画期的変化!!

～中世と近世のたたら～

室町時代～戦国時代(中世)	遺跡名	江戸時代
<b>屋敷谷たたら跡</b> ○野にたたら(屋外の施設) ○地下構造が簡単である		<b>田儀 櫻井家のたたら(近世)</b> 掛樋・越堂・聖谷たたら跡 ○高殿たたら(室内の施設) ○尖形ろいだが開発される ○地下構造が複雑である
○炉は基本的に1つである。 ○役割 ・製鉄炉で出てきた鉄を加熱して不純物を除去、炭素量を調節する。		宮本鍛冶山内遺跡 ○炉は下場と本場の2つである。 ○2ヶ所セットで使われる。 ○役割は中世と一緒だが、より精密。 ○中世とは炉の構造が違う。
○中世は武士の時代やはり鉄が使われ、刀や鎧。また、鉄の生産量が増加した事により、庶民にも鉄が普及し始めた。		○中世より鉄の生産が増え、より身近なものとなった。村の鍛冶屋さんによって、さまざまな農具が作られた。...中には宮本で「子番扱き」が作られていた。



- 1 越堂たたら跡
- 2 宮本鍛冶山内遺跡
- 3 屋形遺跡
- 4 掛樋たたら跡
- 5 屋敷谷Ⅰ遺跡
- 6 屋敷谷Ⅱ遺跡
- 7 屋敷谷Ⅲ遺跡
- 8 屋敷谷たたら跡
- 9 聖谷奥Ⅱ遺跡
- 10 聖谷奥Ⅰ遺跡
- 11 聖谷たたら跡
- 12 茗ヶ原たたら跡
- 13 道ヶ崎たたら跡
- 14 西明原前たたら跡
- 15 西明原たたら跡
- 16 堂のそねたたら跡

### 4コマ劇場 この発掘やろう in 屋敷谷



～お問い合わせ～  
出雲市役所文化財課 TEL 0853-21-6893